

64ビットCNC搭載 ワイヤ放電加工機“FAシリーズ”

鈴木俊雄* 三宅英孝**
安達章人*
竹内浩志*

要 旨

自動車、家電、IT関連機器など様々な製品の価格低下、製品サイクルの短期化、小型・高精度化、多種少量化の傾向はとどまることなく、それに伴って、金型のコストダウン、短納期、高精度化の要求はますます厳しくなっている。

ワイヤ放電加工機は金型加工のマザーマシンとして広く使用されているが、前述の金型への要求を受けて、加工性能はもちろん、操作性、保守性まで含めた生産性の向上や長時間連続自動運転の安定性が求められる。このような市場要求にこたえる高性能ワイヤ放電加工機として、Fast（高速）、Easy（簡単）、Reliable（高信頼性）をキーワードとする新技术を搭載した64ビットCNC搭載FAシリーズを開発した。

FAシリーズは、

- 自動化の核となり長時間連続自動運転を実現する高速・高信頼性ワイヤ自動供給装置“AT”
- 高性能化した適応制御技術群と、それらを統合制御する“AutoMagic”
- 超高速加工から高品位仕上げ加工まで目的に合わせた加工を可能にする多彩な加工電源回路
- 各種セルフクリーニング機能を持つ高信頼性機械構造
- GUIの搭載により、操作性が高く、ネットワークにも対応した高速64ビットCNC

などの技術により、ノウハウ不要の高速・高精度加工を実現し、金型加工から部品加工まで幅広い範囲でユーザーから好評を得ている。



FA10



FA20

	FA10	FA20
各軸ストローク (X×Y×Z) (mm)	350×250×220	500×350×300
最大工作物寸法 (幅×奥行き×高さ) (mm)	800×600×215	1,050×800×295

三菱ワイヤ放電加工機 FA10 / FA20

FAシリーズは、加工対象の大きさに応じた3機種をラインアップしている。大型機FA30は、各軸ストローク(X×Y×Z)は700×500×350(mm)で、オプションでZ軸ストローク510mmにも対応できる。機械サイズは異なるが、搭載している新技术は同一であり、ユーザーの幅広い要求にこたえることができる。